

## 第2回医療・病床懇話会の概要(三島二次医療圏)

### 1 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標(案)・病床機能分化の方向性等について

- 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標として、「将来にむけて回復期への転換が必要な病床」を設定し、今後、地域医療構想の進捗状況をモニタリングしていくことについて、認識の共有を図った。
- 三島圏域ではバランスのとれた機能分化ができていると考えられるが、増加する医療需要に対して医療技術の進歩による平均在院日数の短縮で今後に対応していけるか、今後も議論していくことが必要。
- 慢性期については海外と違い終末期医療にも一定の需要があることを踏まえ、病床機能分化を図っていくことが必要。

### 2 病院の将来プラン等※について

#### (1) 保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を希望する病院

特になし

#### (2) その他、病院のプラン等に対する意見・質問等

茨木医誠会病院 摂津医誠会病院

- ・両病院が合併した場合の設置予定圏域、機能について質問があったため、三島圏域内で合併を予定しているが、詳細は未定である旨、事務局より説明。
- ・病床機能がバランスよく分化できている三島圏域としては、現在の病床機能を維持してほしいとの意見があった。

ほうせんか病院

- ・病床の増床等の希望について、買収も含めて増床するという意味かと、質問があったため、買収を含めて増床予定と聞いていると事務局より説明。

谷川記念病院

- ・救急受け入れの協力をするため病床を増やしたいという希望について、急性期を増やすということか、という質問があったので、増床できないことは病院も理解されており、他の病院の急性期非稼働病床を病床移動したいという思いがあるようだが、医療法上不可能ということ事務局から説明。

※公的医療機関等 2025 プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査